

No. 1659

喜びの新議員 五輪メダリスト

8月7日臨時国会が召集され、7月の参議院選挙で初当選した議員が次々と登院。
推薦4団体の足並みが乱れ、当選後は民社党会派入りし何かと話題の多い森田健作さん。
被爆地広島でPKO法反対を訴え当選した栗原君子さんも「ヒロシマの花」キョウチクトウのピンクのスーツでニコリ。
選挙公報で学歴を偽った民社党新聞さんは神妙な面持ち。
スポーツ平和党から当選した元プロ野球選手の江本さんは「よし、やるぞの気持」と固い表情。
「政治に風穴を」と訴え4人当選を果たした日本新党は揃って登院。
フレッシュな立場で国民のための政治を目指して欲しいものです。

一方、8月12日バルセロナ五輪に出場した日本選手団の解団式が都内のホテルで行われました。
古橋団長は「メダル数22個はソウル五輪より満足のいく成果」と報告。
このあと水泳の岩崎、柔道の吉田、古賀の金メダリストをはじめ、銀メダルのマラソンの森下、有森、柔道の田村など各選手に賞状と褒賞金が贈られました。
最後に旗手の中田選手から団旗が返還され、4年後のアトランタ五輪での活躍を誓い合いました。

日本代表 幕切れ同点ゴール

—— 国立競技場 ——

イタリア・サッカー界の名門、ユベントスと日本代表との第二戦が8月17日満員の国立競技場で行われました。
第一戦は2対2で引き分け、日本の実力に驚いたユベントスは9月からのリーグ戦を前にスーパースターが日本陣内に攻め込みます。
前半15分、ユベントスは日本の反則でP・K. を得て背番号10のバッジォがゴール左隅に決め1対0とリード。
日本も反撃しますが得点に到らず前半終了。
後半は日本代表が押し気味に試合を進め、途中から怪我を押してラモスも出場。背番号11の三浦知良の動きも激しさを増しユベントス・ゴールを襲います。
そして終了寸前、三浦のコーナー・キックを井原が頭で合わせたボールはそのままゴール。1対1の引き分けでゲーム終了。
「100億円軍団」といわれるプロのユベントスと2試合とも引き分けた日本代表。来年4月からのワールド杯アジア予選突破に向けて大きな自信になったといえそうです。